

シルバー ねやがわ

公益社団法人

寝屋川市シルバー人材センター 発行

発行責任者 理事長 谷口 昌隆

〒572-0813

寝屋川市讃良東町6番1号

南寝屋川公園管理事務所2階

<http://www.nsjc.or.jp>

E-mail:neyagawa@nsjc.or.jp

☎ (072) 838-1177 FAX (072) 827-7345

第38号



ねやがわプールのズ

令和最初の夏は冷夏といわれ、真夏日にならない日が続きました。しかし、梅雨が明けたあたりから最高気温が30度を超え、全国的に猛暑となる日が続きました。

そんな中、寝屋川市では昨年に続き「ねやがわプールのズ」が開催されました。

ねやがわプールのズは、夏休みの子どもたちが安心して水遊びができるよう、小学校の校庭にスライダーやプールなどを備えたウォーターパークです。「ねやぶく」として親しまれ、多数の応募があります。

今年は7月23日の三井小学校からスタートし、市内の4つの小学校を回りながら10日間開催されました。

参加者からは「スライダーが楽しかった」等、好評の声が多く聞かれたそうです。

次回開催された際は、みなさんもお孫さんと参加されてはいかがでしょう？

令和元年度定時総会盛会に開催される



令和元年度定時総会が6月7日(金)午後1時より、アルカスホールで開催されました。

式次第に沿って進められ、塚本美津子理事の開会宣言の後、谷口理事長の開会のあいさつ。次いで、在会10年の会員47名に対して表彰状の贈呈が行われました。

ご来賓を代表して広瀬慶輔寝屋川市長、北川光昭寝屋川市議会議長からご祝辞をいただきました。

議事に移り、議長に中西博氏を選任し議題に入り、この総会に上程された第1号議案から第2号議案、報告案件の2件のすべてを全会一致で可決承認され、盛会のうちにすべて終了いたしました。

令和元年度定時総会 挨拶

理事長 谷口昌隆



只今、ご紹介をいただきました理事長の谷口でございます。

本日ここに公益社団法人寝屋川市シルバー人材センターの令和元年度定時総会を開催いたしましたところ、広瀬慶輔市長、北川光昭市議会議長、馬場才健康福祉常任委員会委員長、畑中克仁福祉部長兼福祉事務所の皆様方におかれましては、公私何かとご多忙にもかかわらず、ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

ご来賓の皆様には、当シルバー人材センターの運営に格段のご理解、ご支援をいただき、重ねて厚く御礼申し上げる次第でございます。

会員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、万障繰り合わせて多数ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日の総会は、平成30年度事業報告、決算報告及び監査報告のご審議と、令和元年度事業計画、収支予算のご報告と、いずれも重要な案件ばかりでございますので、慎重ご審議賜りますようお願い申し上げます。

また、本年もシルバー人材センター事業の発展に功績のありました会員の皆様に対しまして、表彰状の授与を行いたいと思います。

さて、平成30年度のシルバー人材センターの事業運営につきましては、前年度に引き続き、就業機会の拡大と会員の拡大への取り組みを積極的に推進してまいりました。

その結果、事業実績は契約金額で約6億350万円、就業延人員では155,683人、就業実人員で1,055人となり、当センター設立以来の最高の結果となりました。

また、会員数につきましては、男性793人、女性426人、合計1,219人と前年度に比べて12人の増加となりました。

これもひとえに会員の皆様方の不断の努力は申すに及ばず、市当局をはじめ関係機関の皆様方のご理解とご支援の賜と感謝申し上げます。

令和元年度も引き続き、出張入会説明会を実施するなど会員の加入促進の拡大を図るとともに、就業機会の拡大・

促進に努める中で、会員のニーズや会員数に応じた多様な就業機会の確保を図り、安全かつ適正な就業が推進できるよう、役職員一同、一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、シルバー人材センターへのより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本日ご出席の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。はなはだ簡単でございますが、私の挨拶とさせていただきます。

●ご列席をいただいたご来賓●

寝屋川市長 広瀬慶輔 様

寝屋川市議会議長 北川光昭 様

寝屋川市議会健康福祉常任委員会委員長 馬場才 様

寝屋川市福祉部長兼福祉事務所長 畑中克仁 様

●祝電●

大阪労働局職業安定部長 阪口佳之 様

大阪府商工労働部労働政策監 土肥洋子 様



ご挨拶

寝屋川市長 広瀬 慶輔



皆さんこんにちは。ご紹介いただきました市長の広瀬慶輔でございます。

5月29日に市長に就任し、前北川法夫市長から、市長職を引き継ぎさせていただきます。

本日は、シルバー人材センターの令和元年度定時総会のご盛会、誠におめでとうございます。心からお慶びを申し上げます。また、先ほど表彰を受けられました皆様、誠におめでとうございます。

さて、皆さん我々の住む寝屋川のまちは、シルバー世代の方の割合が多いことをご存じですか。

ご記憶の方もいらっしゃると思いますが、寝屋川市は昭和35年に5万人であった人口が、15年後の昭和50年には25万人を超え、年間2万人を超える転入時には、人口増加率が全国で一番と言われる時代を経験いたしました。

当時、寝屋川にお越しいただいた皆さんの多くは20代、30代で小さなお子さんを持つ大変若い世代の皆さんでありましたが、40年、50年と経過し70代、80代を迎えられています。

シルバー世代の皆さんが生きがいを持ち、健康でそして豊かな生活を送っていただくためには、長年培ってこられた経験や知識、技能を地域社会で存分に発揮することができ、様々な機会を提供することが大変重要であります。

そのような中、寝屋川市シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様の経験に応じた「働く場」の提供をはじめ、会員のスキルアップを図るための、各種研修会や講習会を開催されるなど、会員の皆様が笑顔でいきいきと活躍できる、地域社会づくりに多大なるご貢献をいただいております。

本市といたしまして、あらゆる世代の方々が安全で、安心して暮らすことができるまちの実現に、全力で取り組んでまいりますので、皆様方には、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びになりましたが、寝屋川市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、皆様方のご活躍とご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、私の挨拶いたします。

ご祝辞

寝屋川市議会議長 北川 光昭



皆様、こんにちは。市議会議長の北川光昭でございます。

本日は、馬場才健康福祉常任委員会委員長共々出席させていただいておりますが、寝屋川市シルバー人材センターの令和元年度定時総会の開催にあたり、市議会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から議会活動に格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

本日は、令和元年度定時総会が盛大に開催されましたことを心からお慶び申し上げます。

また、先ほど表彰をお受けになられた皆様、誠におめでとうございます。今後とも、健康に十分ご留意され、ますますご活躍されることをご祈念、ご期待申し上げます。

さて、急速に少子高齢化が進行し、多くの企業で労働力不足が課題となる一方で、健康で、活力ある地域づくりに関心があり、働く意欲をお持ちの高齢者の方がたくさんおられます。

今後、更に高齢化や労働力人口の減少が見込まれる中、豊かな経験や知識をお持ちの高齢者の皆様方が、積極的に、また安全に就労できるシステムづくりが必要でございます。

このような中、寝屋川市シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様方の豊かな経験と知識を活かし、就労を通じて社会の一員としての役割を果たすことで、高齢者が生きがいを実感できる機会を提供され、地域社会の活性化に寄与されておられることに、心から敬意を表しますとともに、感謝を申し上げる次第でございます。

本日の総会を契機に、寝屋川市シルバー人材センターが、より一層発展され、高齢者雇用の拠点として、重要な役割を担われますことをご期待申し上げます。

また、市議会といたしまして、高齢者の方々が笑顔で暮らせる社会の実現に、行政と共に努めてまいります所存でございます。

結びになりましたが、屋川市シルバー人材センターの会員の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

令和元年度表彰者

正会員として10年以上の在会会員

(順不同、敬称略)

表彰状をお受けになりました皆さんおめでとう
ございます。

今後とも皆様方のより一層のご活躍を期待申し上げます。

西村 良照	神田校区	三上 美津代	桜校区
永原 増吉	啓明校区	坪内 義文	三井C校区
白井 清	成美校区	人羅 政武	楠根校区
西村 正夫	第五校区	麻野 春枝	明和校区
田邊 昌彦	梅が丘校区	岩切 幸子	点野校区
磯部 勝子	神田校区	説田 元彦	三井C校区
愛甲 つや子	池田A校区	小松 知弘	木屋校区
石田 加代子	楠根校区	秋吉 絹子	木屋校区
八澤 克己	三井B校区	下野 巻男	楠根校区
嶋田 正弘	明和校区	井ノ本 清	東校区
東谷 眞次	石津校区	木村 八重子	楠根校区
能登 俊二	池田A校区	太田 忠	西A校区
長尾 キヨ子	中央校区	小野 富子	木屋校区
平本 津夜子	桜校区	廣瀬 忠之	楠根校区
宅見 進	東校区	尾花 文夫	田井校区
板東 ヨリ子	楠根校区	松本 大三	西B校区
井上 哲夫	明和校区	高橋 有三	神田校区
奥田 正信	啓明校区	沖原 光司	田井校区
越智 恵子	中央校区	正岡 政己	和光校区
土屋 邦夫	東校区	花田 政司	池田B校区
植月 篤	三井A校区	田中 邦昌	宇谷校区
江口 晴久	南校区	鈴木 重男	梅が丘校区
上村 幸夫	西B校区	西田 真由美	東校区
森田 清	南校区		

表彰を受けた喜び

廣瀬 忠之

この度、在会10年の表彰を頂き、大変有り難く
思っております。

私は退職後、何か目的をもって生活をしていき
たいとの思いから、平成21年1月にシルバー人材
センターに入会致しました。

その月から企業や一般家庭での植木剪定作業に
携わってきました。何よりけがもなく、安全に仲
間と励ましあいながら楽しく頑張ることが出来た
ことは、皆さんの協力があつたからです。特に夏
の暑い時期、冬の寒い時期の松の剪定は大変です。
そんな中、お客様から感謝の言葉を頂くと「明日
も頑張ろう」と思います。

入会して色々な人に出会えたことは、自分の宝
だと思えます。身体が元気な間は続けられるよう
に、日々の健康管理に気を付けたいと思います。
これからも、生きがいや健康のために頑張つて
いきたいと思えます。ありがとうございました



交通安全教室開催

寝屋川警察署交通課の中泉様にお越し頂き、
交通安全や特殊詐欺等について、講習を行っ
て頂きました。

女性部会からのお知らせ

【お菓子作り講習会を開催します】

簡単なおやつを作りながら会員同士の交流
を深めませんか？

みなさんの参加をお待ちしております。

日時 11月27日(水) 午後1時～午後3時
場所 保健福祉センター 4階 栄養指導室
メニュー じゃがいも、白玉大福
(変更になる可能性があります)

持ち物 三角巾、エプロン、布巾、マスク

定員 30名(男女問わず先着順)

参加費 無料

参加をご希望の方は、
事務局までお問い合わせ
ください。

昨年の様子



平成30年度 事業実績 職群別

区 分	就業延時間(時間)	就業延人員(人日)	受注件数(件)	契約金額(円)
専 門 技 術 群	1,212	258	8	1,705,608
技 能 群	19,736	6,723	1,872	38,452,282
事 務 整 理 群	519	270	21	621,151
施 設 管 理 群	132,578	37,712	109	134,207,638
折 衝 外 交 群	70,263	11,040	89	30,551,420
軽 作 業 群	347,339	92,531	2,304	364,320,742
サ ー ビ ス 群	5,126	1,817	101	5,353,268
合 計	576,773	150,351	4,504	575,212,109

【総会報告】

派遣事業報告書

就 業 延時間 (時間)	就 業 延人員 (人日)	受 注 件 数 (件)	賃 金 (円)	事務費 (円)	消費税 (円)	合 計 (円)
23,337	5,332	83	22,196,086	4,040,583	2,096,419	28,333,088

会 員 数

性 別	年度当初	途中入会者	途中退会者	年度末現在	平均年齢	就業実人員
男 性	793人	117人	117人	793人	71.9歳	672人
女 性	414人	63人	51人	426人	71.5歳	383人
合 計	1,207人	180人	168人	1,219人	71.8歳	1,055人

平成30年度 正味財産増減計算書

収益		単位：円	費用		単位：円
科 目	決 算 額		科 目	決 算 額	
I 経常増減の部			(2)経常費用		
(1) 経常収益			1 事業費	711,713,133	
1 受託事業収益	514,266,786		2 管理費	5,737,032	
2 労働者派遣事業等受託収益	2,688,165		経常費用計	717,450,165	
3 受取会費	2,708,000		当期経常増減額	6,655,608	
4 受取補助金等	35,946,000		II 経常外増減の部		
5 指定管理者受託事業収益	168,456,008		(1) 経常外費用		
6 特定資産運用益	15,841		固定試算除去費	3	
7 雑収益	14,272		経常外費用計	3	
経常収益計	724,105,773		当期経常外増減額	△ 3	
			当期一般正味財産増減額	6,655,605	
			一般正味財産期首残高	72,264,019	
			一般正味財産期末残高	78,919,624	
			III 正味財産期末残高	78,919,624	

令和元年度 事業計画

1. 就業開拓提供事業

就業機会の拡大・促進を積極的に行い、会員への就業機会の提供に努めます。

会員募集のチラシを配布するとともに、特に女性高齢者の入会促進を積極的に推進し、会員拡大に努めます。

2. 指定管理事業

寝屋川市都市公園及び公園墓地を快適かつ安全に利用していただくため、適正な維持・管理に努めます。

3. 普及啓発事業

事業に対する理解と協力を得るため、ホームページでの情報提供や入会促進用リーフレット等を配布するなど、積極的な普及啓発活動の推進に努めます。

4. 研修・講習会事業

会員の就業機会を促進するため、就業に必要な知識及び技能の取得や資質の向上を目的とした研修・講習会を実施します。

5. 相談事業

高齢者に就業機会の提供を促進するため、定期的な入会説明会に加え、出張入会説明会を開催します。

6. 安全・適正就業推進事業

安全・適正就業推進委員会を中心として、講習会の実施や現場へのパトロールを実施します。

また、「適正就業ガイドライン」の周知徹底を図り、適正な就業の確立に努めます。

7. 職業紹介事業

仕事の求人企業等から受け、希望する高齢者に対して、就業情報を提供し、有料による就職の斡旋を行います。

8. 労働者派遣事業

労働者派遣事業による就業を提供し、派遣事業の拡大と適正就業の推進に努めます。

令和元年度 収 支 予 算

収益

単位：円

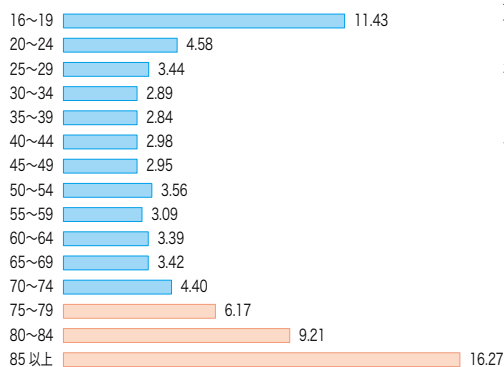
科 目	予 算 額
I 経常増減の部	
(1)経常収益	
1 受託事業収益	504,288,000
2 労働者派遣事業等受託収益	2,800,000
3 職業紹介事業受託収益	10,000
4 受取会費	2,802,000
5 受取補助金等	35,981,000
6 指定管理者受託事業収益	168,792,000
7 特定資産運用益	10,000
8 雑収益	110,000
経常収益計	714,793,000

費用

単位：円

科 目	予 算 額
(2)経常費用	
1 事業費	707,405,000
2 管理費	7,388,000
経常費用計	714,793,000
当期経常増減額	0
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期首残高	72,265,000
一般正味財産期末残高	72,265,000
II 正味財産期末残高	72,265,000

年齢層別の死亡事故件数
(免許人口 10 万人当たり)



警察庁交通局「平成 30 年における
交通死亡事故の特徴等について」より抜粋

近年、高齢者の運転による交通事故が多数取り上げられています。警察庁交通局の調査(左図参照)によると、70歳を過ぎたあたりから事故の件数が急増していることがわかります。

また、「平成 29 年における交通死亡事故の特徴等について」によると、75歳以上の死亡事故の人的要因として、ハンドル操作不適が最も多く、アクセル・ブレーキペダルの踏み間違い事故は、75歳未満が全体の 0.6%というのに対して、75歳以上は 6.2%と高い水準にあります。

センターでは、運転が伴う業務に就業している会員に対して、安全運転講習会を予定しています。

決定次第、対象の会員の方へ連絡します。

それ以外の方は、ご自身で教習所の講習を受講されたり、健康診断を受け日々の健康管理に気を付けて運転を行って下さい。

車の運転には十分に気を付けましょう

会員のひろば

「私の生きがい 今、まだ青春」

鈴木 忠雄

私のモットーは「よく働き・よく遊び・趣味を広く持つ」ことです。若い時からこの考え方は、変わっていません。

私は、流通販売業の会社で約40年間働きました。定年退職後は、2、3年はゆつくりしようと思っていました。しかし、毎日家にいるとたまにある飲み会か友人と京都・奈良の名所巡り、旅行、ゴルフぐらいしかありません。毎日が退屈で、このままでは早く老け元気をなくすと思っていたところで、たまたまシルバー人材センターを知り、働きたいと思い入会しました。それから幸いにも身体の悪い所もなく、元気に十数年続いています。家の中に閉じこもらず進んで外に出かける。それが健康にいいし、ボケ防止にもなるそうです。

外での運動はもとより好きで、その中でもゴルフが一番。今でも以前の会社の同僚と月1、2回コースを回っています。以前はもつとスコアが良く、ボールが飛んだのですが、年とともに飛距離が出なくなり、代わりにOBが少なくなりました。なぜならボールがOBゾーンまで届かなくなったからです。寄る年波には勝てません。困ったものです。

そんな私が趣味の中で、今一番熱心にやっているのが音楽です。学生時代、関西では数少ないハーモニカバンドのクラブ活動をしていましたが、会社勤めの現役時代は全く楽器に触れる機会がありませんでした。退職後、学生時代の仲間とOB会をやっている時に話が弾み、もう一度バンドをやりたいと他の仲間の賛同

を得てやり始めました。まさか退職後にまた音楽活動ができるとは思っていませんでした。

今では学生時代の後輩たちも加わり、年一回の定期演奏会、近畿一円の自治体イベント、老人ホームや各地の老人会等の慰問演奏活動を行っています。平常は20人前後で活動していますが、多い時は50人ほどが舞台に上がります。年一回の定期演奏会では、1,000人以上入る会場で演奏時間は2時間、演奏曲目は25、30曲。たかがハーモニカですけれど、結構体力を使います。これも日ごろのシルバーでの鍛錬の賜物です。以上のことが、私の今の生きがいであり、学生時代に行っていたことをまた出来る。それが「今、まだ青春」のようです。

現在は、毎日大変忙しくしており、ほとんど家にはない状態ですが、家内からは「亭主元気で留守がいい」と喜ばれています。



このように、シルバー人材センターに入って元気をもらい、定年後この年まで働き、好きなことが出来ることを感謝しています。これからの人生、まだまだ好きなことに打ち込めば、より健康になり元気が出てくる気がします。今後も皆さんと共に頑張っていきたいと思っています。

南寝屋川公園の紹介

シルバー人材センターが指定管理者として管理している南寝屋川公園は、寝屋川市の南側に位置する寝屋川市の代表的な公園です。敷地面積が約4万5000平方メートルもあり、園内には野球などができる市民グラウンド（2面）やテニスコート（4面）などのスポーツ施設のほか、記念樹の森や散策路が整備されています。当公園は、「市民の森」として市民に親しまれおり、1986年には「寝屋川八景」のひとつに選ばれました。また、2013年には、公園内の市民プールの跡地が防災広場としてリニューアルオープンし、防火樹が植栽され、防災テーブル・防災照明灯が設置されるなど、災害時にも一時避難地として利用できるようになりました。



公園の遊具広場

複合遊具やブランコなどがあります。

市民グラウンド



会員拡大にご協力を!

当センターの会員数は、前年度は皆様方のご協力によりわずかながら増加しましたが、まだまだ会員不足の状態が続いています。

せっかくいただいたお仕事を職種、時間、地域等の条件によっては就業会員不足のためお断りしなければならぬケースも発生しております。

会員の皆様の友人やご近所の方で、シルバー人材センターでの就業に興味のある方に入会のご案内をお願いいたします。

○入会の条件

- ・寝屋川市在住
- ・60歳以上
- ・健康で働く意欲のある方

○入会説明会日程

- ・10月16日(水)
- ・11月20日(水)
- ・12月18日(水)

○時間

14時から約90分程度
(13時半から受付開始)

○場所

市民会館
第二会議室

○持ち物

- ・筆記用具・認め印
- ・年会費(2,000円)
- ・身分証明できるもの
(免許証・健康保険証等)

出張入会説明会の開催

10月5日(土) 10時から

市民会館 第一会議室

10月10日(木) 14時から

シルバー人材センター

会議室

10月24日(木) 14時から

西北コミュニティセンター

講義室

10月29日(火) 14時から

保健福祉センター5階

研修室5

『シルバーの日』参加者募集

毎年10月の第3土曜日を「シルバーの日」と定め、全国のシルバー人材センターで普及啓発を兼ねたボランティア活動を実施しています。

今年も10月19日(土)に市道池田秦線のボランティア清掃の実施を予定しています。

多数の方のご参加をお待ちしております。事務局までご連絡ください。

集合時間 午前9時45分

午前10時 作業開始

雨天中止

集合場所 市役所または

総合センター

◇会費の納入について◇

お忘れではありませんか?

会費は、会員の保険加入等に支払われる重要な財源です。

会費が納入されていない場合は、お仕事の提供ができません。

また、現在就業されている方も、就業できなくなります。

納入されていない方は、速やかに納入して下さい。

(年会費 2,000円)

4月1日に会員である場合、その年度の会費が発生しています。(会員資格は、会員自身が退会手続きをしない限り、自動継続です)

会費未納の方は、退会される場合でも会費を納めていただかなければなりません。

また、すでに今年度の会費を納められている方も、年度が替わると会費の支払い義務が発生しますので、ご注意ください。

◇お願い◇

事務所へ電話をされる場合は、まず会員番号とお名前をお知らせください。
ご協力お願いします。

配分金支払予定日

9月配分金↓10月15日(火) 支払
10月配分金↓11月15日(金) 支払
11月配分金↓12月13日(金) 支払
12月配分金↓1月17日(金) 支払

編集後記

広報部会では、会報・センター通信に掲載する原稿や、写真を募集しております。

また、投稿箱を事務所前に設置しておりますので、センター、広報部会に対してのご意見も、ぜひお寄せ下さい。

広報部会一同

2月の事務所移転に伴い、センターからの電話を受けたり、着信番号が追加された場合があります。新番号は、折り返し連絡をお願いします。

新番号
072-803-7185・7186

なお、センターへ電話をかけて頂く際は、今まで通り旧番号(072-838-1177)も使用可能です。